

(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

令和 3 年度の事業報告書

令和 3 年 1 月 1 日から 令和 3 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人マニラ育英会

1 事業の成果

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
フィリピン・マニラの就学支援、	マニラ首都圏公立学校で金銭的支援の必要な生徒をスカラーとして募集、奨学金を配布する。 マニラ側提携法人＝給付事業、スカラー情報の管理、役所届出等の事務作業	令和 3 年 1 月 1 日～12 月 31 日	フィリピン。マニラ首都圏全域	日本側事務 3 名とマニラ側 7 名	マニラ首都圏全域 280 名 (別紙参照)	3840
日本の協力者の募集	①スポンサーの募集及び登録や会費、寄附者の管理等の事務作業 ②手紙交流を補助する日本人の翻訳ボランティアの募集、依頼	令和 3 年 1 月 1 日～12 月 31 日	岩手県盛岡市	① 2 名 ② 8 名	300 名程度	680
各号に掲げる事業の普及・啓発	日本側＝広報活動、ニュースレター、ホームページで活動紹介&会員募集	令和 3 年 1 月 1 日～12 月 31 日	岩手県盛岡市	5 名	全国都道府県の方々	616

(2) その他の事業

マニラ交流事業、就学環境支援事業 は 実施しなかった。

2021(令和3)年事業報告書

2021年1月1日～12月31日

1 就学支援事業の実施状況

(1) スカラー合計 280名

HS12	HS11	HS10	HS9	HS8	HS7	EM6	EM5	EM4
70	49(9)	46	24	15	14	35	26	1

※ HS11の(9)は職業教育コースの生徒でコロナ禍のため教育課程を短縮してHS12と一緒に卒業する。 ※ 詳細は裏面参照

(年度がずれこんで受け入れた理由)

IWAスタッフがコロナ感染のため届いたスカラー数は2021年12月31日で278名。

支援決定済のスカラー2名の最終ファイルは2022年2月2日に受領し、合計280名。

(2) 奨学金とマニラ委託費及び寄附金の送金実績

日程	金額	明細	備考
5月13日	1,820,000円	6,500円(奨学金5,000円+委託費1,500円) ×280名 前期奨学金2,270P	前期奨学金 +委託費
6月15日	200,000円	50,000円×4名 (大学生スカラーへの奨学金) 2021年終了	奨学金
10月28日	1,820,000円	6,500円(奨学金5,000円+委託費1,500円) ×280名 後期奨学金2160P	後期奨学金 +委託費
計	3,840,000円		

(3) 大学生4名への奨学金支援は今年で終了した。

(4) スポンサーおよび寄附者の状況と問題点への対応

ア 2020年末でのスポンサー数はのべ280名である。今年卒業した46名のスカラーのうち再度継続したスポンサーは23名である。今年入会したスポンサーは3名。スポンサーの高齢化等によりスポンサーは減少を続けている。これにより、日本の事務経費が不足する結果になっている。これへの対応として、スポンサー募集の時にスカラー支援をせず、当会活動趣旨に賛同し、日本の事務経費として寄付する方々を募集する。

イ スポンサー収入の不足を寄附金によりまかなっている。

寄附金額は616,000円である。

ウ 3月卒業予定者は79名である。スポンサー継続の有無をアンケートで回答いただいた結果は、継続20名、退会7名、不明2名、未回答41名であった。

2 特定非営利活動に係る事業の普及、啓発、人材育成

(1) スポンサーとスカラーの交流(スカラーからの奨学金領収証と手紙)

ア I.W.A.取扱分のスカラーから 合計 478通 (2021年12月31日現在)

イ マニラ育英会取扱分のスカラーから 合計 18通

(2) 育英会ユースの活動

ア 新会員募集 (5月) コロナ禍に配慮して岩手県立大学での募集活動は行わなかった。

イ 翻訳活動 スカラーからの手紙の翻訳 年間6回。

(3) 業務提携法人 I.W.A.(マニラ側国際教育里子事業受入れ団体)の活動状況

新型コロナウイルス感染者数の増減に合わせて、地域封鎖が繰り返し行われている状況で、奨学金配付が学校でできなくなったため、保護者が事務所に受取りに来て、手紙や領収証と引き換えに渡している。遠方に住むスカラーへの給付がかなり遅れている。

3 会議

(1) 定例総会 2021(令3) 2月18日(木)15時~17時 クリエイトビル会議室

(2) 理事会

第1回理事会 2021(令3) 2月18日(木)14時~15時 事務所

第2回理事会 4月14日(木) 19時~20時30分 事務所(オンライン)

第3回理事会 7月4日(水) 13時30分~14時30分 事務所(オンライン)

資料 教育支援事業が実施されている学校等について (2021年度12月31日現在)

地域名	主なる学校	小学生/高校生の数
マニラ市	サラパン小学校 (A)サンファン小学校及び	小学生 5名
サンファン地区	両校出身ハイスクール学生(AH)	ハイスクール 17名
ラスピニャス市	パンプロナ小学校 (2018~) C	小学生 10名
ラスピニャス市	ドナ・マニュエラ小学校 HS	小学生 6名
	ムーンウォーク小学校 (2018~) D,DH	ハイスクール 6名
ラスピニャス市	ダニエルファハルド小学校 F	小学生 8名
	ラスピニャス国立ハイスクール他 FH	ハイスクール 68名
ラスピニャス市	マヌヨ小学校 M	小学生 10名
	ラスピニャス国立ハイスクール他 MH	ハイスクール 43名
マニラ市パコ地区	ルクバン小学校、L	小学生 3名
	卒業生 LH	ハイスクール 14名
マカティ及び郡部	中心部と郡部の小学校と HS 学生	小学生 4名
カビテ州スラム	IWA オフィス直轄 O, OH	ハイスクール 6名
マニラ市パサイ	国立フィリピン聾学校初等部 P	初等部 14名
	同校 高等部 PH	高等部 36名
マニラ市サンファン地区	サンタアナ小学校 S	小学生 2名
	同校卒業生 SH	ハイスクール 18名
マニラ市	ラファエルパルマ卒業生 R	ハイスクール 1名
トンド地区	ドンボスコテクニカルスクール等 T	ハイスクール 0名
サンタメサ地区	マザーマダレナ教育財団(教会) VH	ハイスクール 9名

(スカラー番号アルファベットは学校名)

小学生 62名

ハイスクール 218名

合計 280名